

## 剛塑性有限要素法解析のためのプリポスト処理の流れ

### ファイル

〇〇.MSH (ファイル名: 任意)  
↓  
2Dyouso.dat (ファイル名: 固定)  
↓  
result.d (ファイル名: 固定)  
↓  
result.dat (ファイル名: 前と同じ)  
↓  
result.rts (ファイル名: 前と同じ)

### 使用ソフト

MESH2 (地盤ソフト工房)  
  
fem change\_RPFEM.py  
  
RPFEM (剛塑性有限要素法解析)  
  
analysis output\_RPFEM.py  
  
TXTtoRTS.exe  
TimPost (フリーソフト)

### 備考

メッシュ作成ソフト(注意点あり, 以下※1)

新規変換プログラム

既存

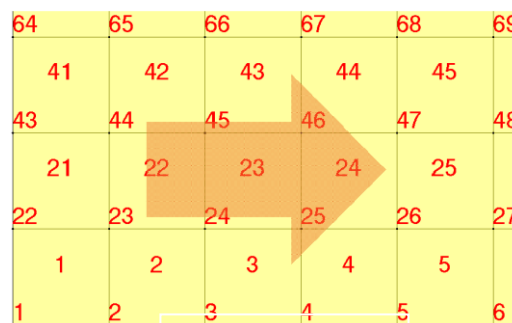
新規変換プログラム

NKC 既存変換プログラム

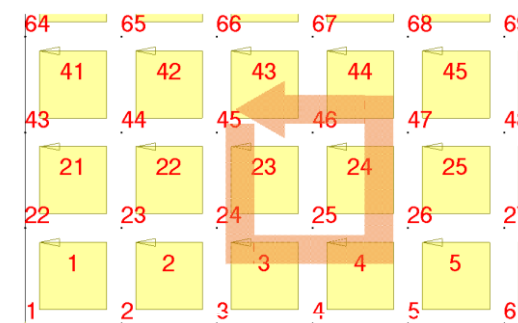
描写ソフト

※1 注意点は以下の4つ.

- ① 同一座標はなし
- ② 座標値に負の値はなし
- ③ 節点および要素の整列
- ④ 要素を構成する節点の順番は反時計回り



※1 注意点③



※1 注意点④

**補足** 最初にいただいたメッシュデータを用いて RPFEM 解析を実行するには, 上記の②③④を修正する必要がありました. そこで, プログラム内に修正できる機能を追加しましたが, その機能(アルゴリズム)は同一座標があると正しく回りません. 上記の②③④を, メッシュを作成するとき(MESH2)に設定できるのであれば, 同一座標でも問題ありません.